

永年勤続医療従事者表彰！



永きにわたり勤務してくださっている方が、医師会から表彰を受けられました。12月11日、当院で表彰式が開催されました。看護部からは2名の看護補助者が受賞しました。栄養部で受賞された方と記念写真です。これからもよろしくお願いいたします。



近畿大学奈良病院での災害訓練に参加しました

12月7日、南海トラフ地震を想定した大規模災害訓練が行われました。当院からは、井上救急救命士、城山さやか主任、中川愛美看護師が参加しました。実際に搬送された患者役、看護師役と交代してトリアージタグも使用し実地訓練を行いました。本部対応の訓練では、報告された情報を集約し対応する訓練でした。当院でも一度訓練をしていきたいと思えます。その際は、今回の訓練経験を活かしてください。



看護部からのお知らせ

1月の新人研修「エンドオブ・ライフケア」で看取り士の方に来ていただきます。看取り士という存在が知られるようになったのは、2019年9月に全国公開された劇場用映画「みとりし」でした。俳優の榎木孝明氏が演じられました。余命がわずかな人やその家族に寄り添う「看取り士」を題材にした映画でした。看取り士の方は、「すべての人が最期、愛されていると感じて旅立てる」「誰もが皆幸せな尊厳ある旅立ちができるように」とお見送りをされています。新人だけでなく、希望するスタッフはぜひ参加してくださいね。

病院で運動会を行いました

11月に回復期リハビリテーション病棟で「運動会」を行いました。長くコロナ禍でレクリエーションができていませんでした。今回は、リハビリチーム・看護学生さん・スタッフ協力のもと、開催ができました。最初に、理学療法士の選手宣誓があり、体操、（それなりに難しかった！）ペットボトルのボーリング、玉入れを行いました。最後に、スタッフによる「パン食い競争」は皆かなり真剣でした。患者さまは、手をたたいて応援してくださったり、笑ったり普段見られない表情がありました。患者さま同士で記念撮影をしておられる方もいらっしゃいました。危ないのではないかと、心配の声もありましたが、さすがは、理学療法士、看護師です。能力に応じて、安全に配慮しながらそして持てる力を引き出しながらの対応ができました。来年も開催したいと思います。



発行人
看護部長室

看護部長のひとりごと

気が付けば1年が過ぎるのが非常に早いなと実感しています。1年が早く感じることを「ジャンネーの法則」といいます。この法則は「人生のある時期に感じる時間の長さは年齢の逆数に比例する」というものです。解りやすくいうと、歳を取るにつれて自分の人生における「1年」の比率が小さくなるため、体感として1年が短く、時間が早く過ぎると感じるということです。1歳の時に感じた1年を1/1とすると、2歳の時の1年は1/2となり1歳の時の2倍速く感じるようになるということです。この法則を打ち破るには、夢や目標を持ち、常に新しいことに挑戦し続ける。経験したことがないことをやっているときは、それが強く意識に残り、時間が長く感じるとのことです。来年も挑戦しないといけないですね。

